

令和6年第1回 柳井市議会定例会 一般質問内容

質問者	質問事項及びその要点	答弁を求める者
[1] 岡本 泰行 議員		
1 伊方原発事故を想定した対策について		市長、関係参与
(1) 最近日向灘に地震が多発しています。伊方原発の事故を想定した対策についてお聞きします。スイスでは半径50キロ圏内の住民全てに安定ヨウ素剤が配布されています。当市における状況をお聞かせください。		
2 コロナ対策について		市長、関係参与
(1) コロナ対策に費やされた税金について		
①柳井市に交付された補助金の金額及びどのように使用されたのか。		
(2) ワクチン接種による副作用について		
①全国的にワクチン接種における副作用が多数報告されていますが、当市の状況についてお聞きします。 子どもたちの接種率についてもお聞かせください。		
3 ドッグランの設置について		市長、関係参与
(1) 令和5年9月議会の質問でもお願いしましたが進展がありません。事例は全国の自治体にどんどん拡大し、観光客にもペットのドッグランは必要不可欠な施設だと思われまます。試験的にお散歩公園で実施は出来ないか、お尋ねします。		
[2] 田中 晴美 議員		
1 みどりが丘図書館におもちゃコーナーを設置できないか		市長、教育長、 関係参与
(1) 最近の子どもたちのおもちゃの所有率には大きな格差があるといわれています。少しでも格差を是正するためにもキッズルームにおもちゃコーナーを設置できないかお伺いいたします。		
2 JR大島駅舎解体におけるトイレの撤去について		市長、関係参与
(1) 駅舎解体に伴いトイレを撤去すると聞いておりますが、是非ともJRにトイレ設置の要望をして頂けないでしょうかお伺いいたします。		
3 大島にある新波止場の有効活用について		市長、関係参与
(1) 大島本町地区にある新波止場はいまだに完成されていないとか、他の波止場崩壊時に船の避難場所などと答えられているが、漁業活性のために用途変更してでも有効活用すべきではないかお伺いいたします。		
[3] 坂ノ井 徳 議員		
1 図書館も完成し次の課題をどの様に考えているか伺う。		市長
(1) 無認可保育園の今後の支援について		
(2) 市職員との打合せ並びに業務改善のあり方について		
(3) インバウンド・観光産業の推進について		

(4) 能登半島地震で道路のインフラの必要性を感じるが柳井のインフラをどの様に考えているか。

(5) 柳井駅南改札口の開設について

2 飛行機（ジェット機）の騒音について

市長、関係参与

(1) 騒音の減少を強く求めます。

[4] 中川 隆志 議員

1 上関町の使用済核燃料中間貯蔵施設の建設計画について

市長

(1) 市長は一貫して上関町の意向は尊重するとおっしゃってきたが、今もそのお考えに変わりはないか。

(2) 1市3町の首長で連携して中間貯蔵施設建設の問題に対処しておられるが、原発予定地から30km圏内には光市も含まれる。光市長とも連携するお考えはあるか。

2 南海トラフ地震ではマグニチュード8～9クラスの地震が10年以内に30%、30年以内に70%～80%、50年以内では90%の確率で発生するといわれている。能登半島地震を教訓とした防災対策について

市長、関係参与

(1) 地震による家屋の倒壊が顕著であったが、家屋の耐震化をどのように進めていくか。

(2) 市内の多くの地域が土砂崩れの危険地帯に指定されているが、どのような防止処置をとっていくか。

(3) 市内全域で被害が広がるが、人命救助のための人員や資機材は確保できるか。

(4) 長期にわたる断水や停電に対する対策はできているか。

(5) 断水でトイレは使えなくなるが十分な簡易トイレは確保できるか。

(6) 避難所には十分な避難者を収容できるか。

(7) 避難所で十分なプライバシーは確保できるか。

(8) 志賀原発では原発の安全性を揺るがす重大な問題がいくつも明らかになった（燃料プール冷却用ポンプの一時的な停止、変圧器の破損による電源停止、使用済み燃料プールの漏水、モニタリングポストの不具合等）。南海トラフ地震と津波及び原発や中間貯蔵施設の災害は同時に起こる可能性が高く住民は危険に晒される。上関町の中間貯蔵施設や原発の建設計画には反対すべきではないか。

(9) 地域防災計画を見直すつもりはあるか。

[5] 長友 光子 議員

1 使用済み核燃料の中間貯蔵施設建設について

市長、関係参与

(1) 中国電力より議員説明会がありましたが、不誠実なもので、中国電力の説明には、限界があることを示しました。市民の理解のためには、批判的な識者も含めて客観的な学習をする機会が必要と考えますがいかがですか。

(2) 2月7日には、「原発に反対する上関町民の会」など4団体が

ら「中間貯蔵施設建設中止を求める」署名が、27万5043筆、中国電力に提出されました。このことを周辺自治体の長としてどう受け止めますか。

- (3) 市や周辺自治体の住民の建設反対の意思や不安の思いを的確に把握して、市民の安心安全のために中国電力や上関町や県に建設反対を含めた慎重な対応を申し入れすることが必要と考えますが、いかがですか。

2 国民健康保険税の均等割の18歳までの免除について

市長、関係参与

- (1) 以前より国民健康保険税の高さに悲鳴があがっています。加えて、物価高騰が市民の暮らしを直撃しています。子どもの均等割は、収入のない子どもにも保険税を課するという不合理で、子育て支援に逆行する制度です。政府は、地方自治体が医療費助成をすると、国保の国庫負担が軽減される減額措置について、2024年度から廃止することを決めました。今こそ、18歳までの全額免除が急がれるのではないのでしょうか。

[6] 君 国 泰 照 議員

1 30年以内に巨大地震が予想されているが市の対策について

市長、関係参与

- (1) 能登半島地震の教訓に対して、南海トラフ、安芸灘断層等、柳井市を取り巻く活断層がある。

市民の生命、安心、安全を確保すべく、インフラ整備や、水、電気、道路、食料等の市としての対策についてお尋ねします。

2 究極の人口減少について

市長、教育長、  
関係参与

- (1) 今、日本の最重要課題は、人口減少である。政府の施策として子育て支援があるが、バラマキ予算では解決しない。

子育て政策も重要であるが更なる少子化対策についてお尋ねします。

3 新たな教育指針について

市長、教育長

- (1) 現代の荒廃した社会において新たな教育指針が必要と思うが、柳井版として、柳井市長の望む市民像、教育長としてのどのような子ども、生徒に成長することを望むかを、お尋ねします。

[7] 篠 脇 丈 毅 議員

1 井原市長の市政運営について

市長、教育長、  
関係参与

- (1) 平成の合併から20年になろうとしている時新たな歴史遺産制度を設け、柳井市の歴史をひもとき、市民ひとり一人が先人達の生きざまと業績に学び、誇りのもてるまちづくりの契機とされませんか。

①明治維新の原動力となった、秋良敦之助、僧月性、赤祢武人、世良修蔵らは新庄の岩政信比古の蝸室塾で国学を学んでいますが、どのような役割をはたし、功績があったのか、一般市民が身近に知るところとなっております。

②夏休み前にオープンするみどりが丘図書館には、郷土学習のコ

- 一ナーが必須と考えますが。
- (2) 地球温暖化に資する、森林環境保全に、どう取り組む、お考えですか。
- ①政府は2024年から、復興税に代えて森林環境税を課税するとされています。柳井市総合計画に定めた施策の中で何を重点に取り組まれる、お考えですか。

[8] 下村 太郎 議員

1 周東総合病院の小児科常勤医師について

市長、関係参与

- (1) 令和4年4月より周東総合病院の小児科常勤医師がいないため不安に思う子育て世代が多い状況です。本市としての対応策についてお伺いします。

2 複合図書館について

市長、教育長、  
関係参与

- (1) 複合図書館は太陽光パネルの重さに耐えられる基礎と柱の強度がないため、太陽光設備を整えることができません。ゼロカーボンシティとしての改善策をお伺いします。
- (2) 閉架書庫が狭く現図書館を活用することになった原因と閉架図書の利用方針についてお伺いします。

3 金魚ちょうちんの商標登録等による権利の保護について

市長、関係参与

- (1) 金魚ちょうちんのブランド力が高まるにつれて、海外事業者等による金魚ちょうちんに関する商標登録等の恐れがあります。本市としての対応策についてお伺いします。

[9] 平岡 実千男 議員

1 特定小型原動機付自転車の個人所有の広がりに伴う支援について

市長、関係参与

- (1) 令和5年7月1日、道路交通法の一部を改正する法律のうち、特定小型原動機付自転車の交通方法等に関する規定が施行され、性能上の最高速度が自転車と同程度であるなどの一定の要件を満たす電動キックボード等に限って、特定小型原動機付自転車として、運転免許を受けずに運転することができるようになるなど、新たな交通ルールが適用されました。特定小型原動機付自転車が今後普及していくと思われませんが、安心・安全に運行できることや利便性向上にむけた支援が必要だと考えます。

柳井市では、今後の支援についてどのようにしていくのかお伺いします。

2 電気自動車の充電設備普及に伴う支援について

市長、関係参与

- (1) 本市は、Terra Motors株式会社と包括連携協定を締結し、協定内容に含まれる、「クリーンエネルギー自動車の普及促進に関すること」への取組みとして、本市内の公共施設を中心に次世代自動車用の充電設備を整備しました。今後は、電気自動車の補助金など充実した支援を行い、普及に力を入れていくことも大切ではないかと考えます。

柳井市では、電気自動車の充電設備の普及に伴う支援について

どのようにしていくのかお伺いします。

[10] 三島 好雄 議員

1 JR大島駅の今後について

市長、関係参与

- (1) JR大島駅については、駅に付属のトイレや、その他施設の縮小が計画されているようだが、柳井市として、どのような対応するのか伺いたい。

2 今後の企業誘致について

市長、関係参与

- (1) 柳井市の企業誘致は、近年18件の進出協定が締結され、多くの企業が新規に立地し、もはやこれから企業を誘致する用地が無くなってしまい、新たな企業誘致のための用地取得が喫緊の課題であるが、いかがか。柳井市の人口は3万人を切ったが、社会増で人口が微減にとどまっているのは、企業誘致ができたからではないか。

3 柳井市の観光について

市長、関係参与

- (1) 以前、一般質問で、国道437号から周防大島と柳井方面に分かれる箇所に、柳井方面に向かうビジュアルな標識を作り、広島方面から周防大島ばかりに向かう観光客を柳井市に誘致することを提案したが、どうなっているか伺いたい。

4 柳井市内の不登校児童・生徒について伺いたい。

教育長、  
関係参与

- (1) 柳井市内の小・中学校の不登校児童・生徒の数はどれくらいか。また、それを解消する方法は、どのように取り組んでいるか伺いたい。